

4月1日

入舸・余別駐在所に 新しいお巡りさんが着任

余別駐在所^{たけだとうま}に竹田冬馬^{たけだとうま}巡査部長（31歳）が着任されました。

3月まで帯広警察署刑事第一課に配属されていた竹田巡査部長は、妻の亜美さん、長女の咲耶ちゃん（3歳）、次女の渚咲ちゃん（1歳）の4人で赴任。

今回初めての駐在所勤務について「密漁が課題となっているので、日々のパトロールを通じて、防犯と検挙活動に取り組み、地域の皆さんの安心感の向上に努めたい。」と抱負を述べていました。



▲竹田 冬馬 巡査部長（31歳）



▲石川 恵一 巡査部長（53歳）

入舸駐在所^{いしかわけいいち}に石川恵一^{いしかわけいいち}巡査部長（53歳）が着任されました。

3月まで旭川東警察署留置管理課に配属されていた石川巡査部長は、妻の明美さんと2人で赴任。

積丹町での勤務について、「お年寄りが多いので、振り込め詐欺等に遭わないよう呼びかけをし、パトロールを中心に地域の皆さんの安全・安心を守りたい。」と抱負を述べていました。

行政相談委員を紹介します！

毎日の暮らしの中で、国や役所などで行っている仕事について困っていること、納得できないことなどはありませんか。

行政相談委員は、市町村長の推薦に基づき総務大臣が委嘱した民間の人たちで、皆さんから広く行政に対する苦情や相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知などの仕事をしています。

相談は無料で秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

郷六 憲子さん（野塚町）
TEL 45-6162

人権擁護委員を紹介します！

人権擁護委員は、市町村長の推薦に基づき法務大臣が委嘱した民間の人たちで、あらゆる人々の人権を守るため、毎日の暮らしの中で起こる人権に関する問題（いじめ、体罰、差別問題など）に対し、人権相談を受けています。不当な差別、職場・学校でのいじめ、相隣間のトラブルなど、「これは人権問題では？」と感じたら、ひとりで悩まずにお気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は厳守されます。

町内の3名の人権擁護委員は次の方々です。

成田 康正さん（美国町）
TEL 44-2102

鳴海 君子さん（入舸町）
TEL 45-6647

安宅 範子さん（余別町）
TEL 46-5108

新しいALT（外国語指導助手）

サリバン、シャナゲイルさんが着任

2年間の任期を終えたALT（外国語指導助手）アナ・ローレスさんの後任に、4月からアメリカ合衆国出身のサリバン、シャナゲイル（Sullivan, Shana Gail・40歳）さんが着任され、美国中学校や町内各小学校で英語の授業の教壇に立っています。

初めての日本での暮らしに戸惑いもあるようですが、毎日が楽しいと話し、子どもたちについては、「みんな英語がよく出来ていて、教えるのが楽しいです。」と笑顔で話していました。

また、各家庭で設置されているIP電話では定期的にシャナさんによる「ワンポイント英会話」も実施されますので、是非ご覧ください。

「積丹町はとても綺麗で山や海など自然にあふれていて大好きです。今度、神威岬に行きたいです。」と、積丹町を気に入ってくれたシャナさん。街で見かけたら気軽に声を掛けてあげてください！



役場の新しい顔 ～新規採用職員と道からの派遣職員を紹介～



住民福祉課 主事補 ^{ささき ひでのり} 佐々木 秀徳（札幌市出身 23歳）

住民福祉課に配属になりました。仕事だけでなく、町民の皆様との交流も大切にしたいと思います。

建設課 技師補 ^{さとう よしき} 佐藤 善紀（札幌市出身 22歳）

建設課に配属になりました。日々の仕事に積極的に取り組み、先輩方に助けていただきながら少しでも早く積丹町の力になれるよう努力していきます。



建設課 主事補 ^{こば だいき} 小場 大希（小樽市出身 20歳）

建設課に配属になりました。毎日与えられた仕事を真剣に取り組み、町民の皆様のお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いします。



商工観光課 主事補 ^{いりが けいご} 入賀 啓吾（小樽市出身 20歳）

商工観光課で働かせていただいています。まずは与えられた仕事をしっかりこなし、少しでも町民の皆様のお役に立てるよう頑張ります。



北海道からの派遣



税務課 課長 田村 貴史（51歳）
（札幌道税事務所自動車税部自動車税課税課）

北海道からの派遣で4月から税務課に勤務しています田村です。後志管内での勤務は初めてとなりますが、町内の行事等にも積極的に参加し、一日も早くこの地に慣れたと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

狭い路地でタンク車消火

北後志消防組合積丹支署（佐谷支署長・署員17名）は、5人の消防隊員による「タンク車機関員運用効果確認訓練」を行いました。

この訓練では、運転・機械の操作・車両の知識の効果測定が行われ、積丹支署の駐車場にポールを立て、狭い路地を想定した訓練を行うことで車両の感覚を養い、水のみ放水とC A



▲タンク車機関員によるC A F S放水訓練

F S放水（泡状の放水）を行うことで機械の操作の確認をしました。

火災が発生したときに安全・確実・迅速に活動が行えるよう日々訓練を行っています。

みなさん火事には十分気を付けてください！

”低血糖急患”も救急救命士が！

また、同支署には現在4名の救急救命士がいます。そのうち、2名の救急救命士が、新たに低血糖の人へ血糖値の測定と、ブドウ糖の投与ができるようになりました。

人間にとって糖質は、唯一脳のエネルギーになるため、とても重要な栄養素です。

しかし、体内へ糖分を取りすぎると「糖尿病」になりやすくないと低血糖になる可能性があります。

低血糖になってしまうと、脳



▲救急救命士による特定行為実施訓練

のエネルギーが少なくなってきたとき、意識状態が悪くなり、場合によっては死亡する可能性もある危険な状態です。

そこで、救急救命士による的確な血糖値測定とブドウ糖の投与をすることで、低血糖の症状を改善することができます。

また、病院到着まで長時間になるため、現場で行うことがとても重要になります。

同支署では救急救命士が中心となり「絶対に助ける」を合言葉に、日々救急の訓練を実施し、技術向上を目指しています。

児童に防災啓発グッズが寄贈

子どもの時から災害が起きるかもしれないという「危機意識」や「防災意識」の向上を目的に、北海道消防協会後志地方支部余市分会（高野俊和分会長）が作成した「防災啓発クリアファイル」が、4月5日、積丹消防団今井論団長から十河教育長へ寄贈され、町内児童68人に配付されました。

学校や家庭でもこのクリアファイルを有効に活用し、子どもたちはもちろん、家族や町民のみさんの防災意識の向上に繋げていきましょう。



木浪さん（来岸町）と澤さん（余別町）に日本消防協会勤続章

消防の職務に精励した勤続30年以上の消防団員に贈られる「日本消防協会勤続章」が積丹消防団第6分団長の木浪幸永さん（来岸町）と第7分団部長の澤貴幸さん（余別町）に贈られました。

2人は昭和61年に消防団に入団、長きにわたり第一線で活躍してきました。今後も、災害対応をはじめ、様々な消防団活動でのお二人の活躍を期待しています。



▲木浪幸永さん（左）と澤貴幸さん（右）

町職員の配置を紹介します

(平成29年4月1日現在)

() は兼務・併任

階層別内訳	
町長	1名
副町長	1名
教育長	1名
特別職 計	3名
課長職	11名
総括主査・総括係長職	19名
主査職	7名
課職員	33名
一般職 計	70名
特別・一般職員 計	73名
再任用(短時間)	1名
嘱託職員	5名
臨時・パート	43名
再任用・嘱託・臨時等 計	49名
総合計	122名

(注) 一般職には北海道からの派遣職員1名は含まない

町長 松井 秀紀

副町長 奥山 均

